

学校給食週間を通して学ぼう

1月24日(水)～30日(火)は「学校給食週間」です。

日本の学校給食は、明治時代に始まりましたが、その後、太平洋戦争の影響で中断されてしまいました。学校給食週間は、戦後、海外からの温かい支援で、学校給食が再開されたことを記念し、1950年(昭和25年)から行われています。

私たちの食生活を取り巻く環境は、時代とともに大きく変化し、不規則な食事や、偏った栄養摂取などによる健康面への懸念、さらに、食卓を囲んでのさまざまな交流の機会なども減ってきています。

こうした中、学校給食は栄養補給の面だけでなく、食に関する正しい知識や、望ましい食習慣を身に付けるという新たな役割を担っています。

学校給食週間中、本校では、日本の食文化や郷土料理などについて考えてもらおうと「宮っ子ランチ」や、給食委員会の生徒が作った「手作りみそ」や、宇都宮市産の「トマト給食」を取り入れています。

また、1月24日(水)の生徒会朝会では、生徒会給食委員会によるクイズなどを行い、食についての知識を深めてもらう予定です。

感謝の心でいadakou!

食べることは、生きることです。人は食べないと生きていけません。食べ物がわたしたちの体をつくり、動かし、調子を整えてくれます。また、その食べ物の生産者や料理を作ってくれる人たちがいるおかげで、食べることができています。今現在、日本でも大きな地震で食べ物に困っている人たちもいます。食べ物や食事に関わる人々に、感謝していただきましょう。

食べ物を大切にする



米や魚、野菜など、動植物の命をいただいています。その命を粗末にしないよう、感謝し、大切にいただきましょう。

食事のあいさつをきちんとする



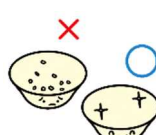
食事のあいさつの「いただきます」「ごちそうさま」には、食べ物の命や料理に関わる人々への、感謝の気持ちが込められています。

食事のマナーを守る



食事のマナーを守って食べることは、食べ物や料理を作ってくれた人の思いを大切にすることにもつながり、感謝の気持ちが伝わります。

後片付けをきちんとする



食器に食べ残しがないようにしたり、食器を下げたりするなど、後片付けをきちんとすることで、食事を準備してくれた人々への感謝の気持ちが伝わります。

《給食週間中の献立》

24日(水) 宮っ子ランチ … 黄ぶなにちなんで健康になろう献立

25日(木) 手作りみそ給食 … 給食委員会の手作りみそを使った炒め物

29日(月) トマト給食 … 宇都宮市産のトマトを使ったカレー

